

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30 年 12 月 11 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471502686		
法人名	株式会社リブネット		
事業所名	グループホームかざぐるま		
所在地	広島県福山市御幸町上岩成609-1 (電話) 084-961-1200		
自己評価作成日	平成30年11月14日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2018_022_kani=true&JigyosyoCd=3471502686-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成30年11月26日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

入居者ひとり一人が役割を持ち、入居者主体の生活が送れるように支援しています。入居者の生活の流れにスタッフが合わせ、家事すべてにおいては、一連の流れを大切にし、入居者とスタッフが一緒になって取り組めるようにしています。入居者との関わりを大切にして安心・安全に生活できるようにしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

3階建ての建物に、1階にデイサービス、2階3階がグループホームとなっており、3ユニットの運営を行っている事業所である。近隣に商業施設、大学、公立病院があり地域的にも賑わいに恵まれている。日々の生活の中に例え生活の場所は違っても、設立の思いを理念に汲み入り「家庭的な雰囲気の中で、仲間と一緒に思いやりとやさしさで、笑顔を大切にした安らげる生活を目指す」を下に年間目標、個人目標に定め職員全体で共有し、日々のケアに取り組まれている。又、入居者の出来る事を役割として、毎日の食材の買物に出かけたり、外出支援など日頃から四季を感じて頂けるよう努めている。言葉使いを中心に入居者の目線で、寄り添い尊敬の気持ちを持った入居者本位の支援に努めている。

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	理念をユニットに貼り、スタッフ皆が見えるようにしている。	理念を各ユニットごとに良く見える掲示板に掲げ、朝ミーティングで職員間で意識づけしている。主任会議にて理念を下に月間目標を決め、各ユニットに持ち帰りユニットごとに目標を決め評価しており、達成に向けての努力が見られる。職員も入居者担当を決めた事で目標も立てやすく研修等、向上心に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近所に得意先のスーパーがあり毎日の食材を入居者と一緒に行き、雑談等をしている。	食材の買物等毎日近くのスーパーへ行き、顔なじみになり、話をする機会も増えてきた。回覧板や運営推進会議参加者から地域行事の案内があり、小学校の運動会、敬老会等に参加している。毎年年末の餅つき大会には、ボランティアの参加協力がある。町内会への参加など地域との関係づくりにとりくんでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	事業所の案内掲示板を利用し、入居者の作品などを貼りだしたり各グループの掲示板にも絵や写真を飾っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回必ず開催し、ケアマネージャー、主任が参加し参加された方々で意見交換をし、グループ内で取り上げ実践している。またその時期ごとに勉強会なども行っている。	運営推進会議は2か月に1回開催され、福祉を高める会、民生委員、包括支援センター職員、保健福祉課と多職種の方の参加がある。運営推進会議が行事報告、事故報告に留まらず、徘徊対策法・感染症予防・消防訓練等、貴重な意見交換の場になり、改善に向けて取り組まれている。家族にも議事録を送付している。	運営推進会議には多職種の方の参加があります。貴重な意見交換の場にもなっています。ぜひとも入居者、家族の参加が得られるよう希望します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	日頃の不明な点などは、市担当者へ相談し連携をとっている。	福山市北部支所、担当職員とは相談事、アドバイス等、常に連携が取れるように、顔なじみの関係が密に出来るよう出向いている。又、運営推進会議には担当職員の参加もあって、お互いの関係が築けている。市や地域包括支援センターが主催している研修にも積極的に参加している。	

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	日頃のケアの中で主任指導をもとにミーティング、勉強会、研修等の中で周知し拘束をしないケアを徹している。	毎日のケアの中からミーティング、研修、勉強会等を重ね、身体拘束をしないケアを職員全員で周知に努めている。昨年、家族の要望で壁付柵を実施していたが、夜間の巡視を増やす事や入居者の様子を細かく観察していく事等工夫を行い、身体拘束をしないケアに繋げ解消する事が出来た。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	月に1回虐待防止委員会を開催している。その中で全事業所が集合し話し合いをしている。日常ケアの中で主任を中心にミーティング、勉強会、研修の中で周知し虐待の意識を高め防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	必要とされ利用されている入居者の方はおられる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	本人の希望等について事業所で対応出来る事、出来ない事項について、必要な時に家族、本人と事業所が確認し合い、納得した上で利用してもらっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	年に2回(春、秋)家族会を開催し、その中で家族と話し合いの場を設けており、家族へのアンケートを実施している。面会時には日頃の生活の様子等をお伝えしている。サービス担当者会議では家族からのご要望を知れるようにしている。	入居者からは日頃の様子、会話の中から汲み取れるよう工夫している。家族には電話や毎月担当職員が入居者の様子を使いでお伝えしている。家族からは面会時、年2回(春・秋)の家族会開催時、アンケートを実施して、家族の要望・意見を反映に繋げている。(家族から歯科の往診をしてほしい要望があった。)	

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>全事業所集合し、管理者会議を行いました主任会議、各ユニットでのミーティングの中で意見交換や提案等と話し合う場を設けている。</p>	<p>ユニット会議等で日々のケアや業務での意見交換を活発に行っている。各ユニットごとに2か月に1回、管理者、主任との個人面談を実施し、ストレスのないよう定期的に話し合いの場を設けている。中に、有給休暇が取れなかったが、現在は取れるようになった。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>資格取得や実績が給与に反映できるような仕組みになっている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>それぞれのスタッフの経験に応じた内容の外部研修への参加を行っている。法人内の勉強会を開催し勉強している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>講師派遣による研修会や勉強会、市が開催している相互研修会へ参加している。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居者の事前情報などで現場のスタッフとも安心して要望が言い合えるような関係作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>要望に沿ったサービスを提供できるように、家族の思い配なことなどを話してもらえようような関係作りをしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人、家族の要望と事業所の出来る出来ないことを話し合いすり合わせ、要望にこたえられないような場合は要望に沿えるようなサービスの紹介をしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>ご利用者様主体の生活を実践する為にスタッフは入居者の要望をかなえる為に存在して居る事を意識した入居者との関係作りをしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>事業所で何でもしてしまうのではなく、家族が参加出来る事には極力参加してもらいあくまでも本人と家族の関係を最優先にし、家族では補いきれない部分を事業所がサポートしていくように努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>お墓参りの外出や外泊などを家族の協力を得ながら行っている。また入居者の行きつけのショップに行ったり馴染みの美容室の訪問美容などしていただき関係を継続している。</p>	<p>家族の協力を得て、墓参りの外出や外泊をしたり、受診時ドライブのかたわら行きつけの美味しいパン屋に行く事もある。以前からの友人の訪問や訪問美容等、馴染みの関係が途切れないよう、継続出来るよう努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う同士は日頃から談話をしたり楽しまれている。単独行動が多い方には不満がでない程度に他の方と交流できるようにスタッフが中立ちをしたりして、入居者同志が楽しみながら生活できるような関係作りをしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去された家族の方へ手賀状やお手紙を出している。長期入院し退去となられた方へ入居者とお見舞いに行ったり、亡くなられた方の葬儀に参列をしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	食事や入浴で接することの多い際、会話から入居者の意向や希望を聞き把握している。意思疎通の難しい入居者には日常生活での表情、仕草及び入居開始時の情報把握に努め全スタッフが情報を共有し入居者本位の支援の検討に努めている。	入居者の思いや意向を把握しやすい入浴時や食事の時、何気ない会話の中から掴み取り職員間で話し合い連携を取りながら、一人ひとりにあった支援に繋げている。把握が困難な入居者にはジェスチャーを交えながら把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日常の会話や面会された家族の方から情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	夜勤者から朝の申し送りや、ライフチャートなどでその日の生活状態を確実に把握し全スタッフが共有できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>入居者などの意向を踏まえた計画を担当職員、チーム職員の合同会議により作成し関係者全員で計画に沿ったサービスが提供できるようにしている。</p>	<p>3か月毎、担当職員含め職員全員でモニタリングを行い、本人・家族の意向、意見を踏まえてチームでの介護計画書を作成している。身体状態変化があった時には、その都度介護計画の見直しを行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>時系列に沿った生活記録(ライフチャート)を利用してこまめな記録と勤務交代時の申し送りなどで情報の共有をしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その都度、本人、家族、事業所で話し合い可能な限り実現できるように取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の祭りや、文化祭、催しなどの行事に参加している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>協力医が定期的に往診しており、通院は事業所に対応しているが必要に応じて家族も同行している。入居者、家族希望で馴染みのかかりつけ医を選ぶこともできる。</p>	<p>入居者のほとんどが事業所の協力医療機関が主治医となっている。現在は1名の方が以前からのかかりつけ医を希望されている。医療連携が整っていて、週1回(火)訪問看護、隔週で医師の往診もある。専門医受診の際は家族の協力を得ながら行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(こもれば)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>協力病院の看護師にいつでも相談できる体制が整っており、気になる事、些細なことでも相談にのってもらっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院中の経過を取り合い病院との関係を密にし少しでも早期に退院できるようにしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>できるだけ早期から話し合いの機会を作り、方針の統一を図りながら事業所が対応しうる最大の支援方法を踏まえてチームで取り組んでいる。入居者や家族のニーズをくみ取りながら体制を整えていく努力もしている。</p>	<p>入居時アセスメントを行い重度化(看取り)に関する指針で確認を行っている。看取りについて医療機関と連携を取りながら、医師、家族、関係者とカンファレンスを行い、家族と連携を密にし意思の確認を行っている。職員間で勉強会を重ね看取りについてマニュアルを作成。日頃から趣味嗜好の聴き取りをしている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>緊急時のマニュアルを準備している。定期的に全スタッフが救命救急講習を受けている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>消防署の協力を得ながら火災、地震、水害等各災害に備え、昼、夜いつでも入居者が安全に避難できるよう訓練内容、回数を充実している。</p>	<p>年2回消防署立ち合いのもと、4月(日中)11月(夜間)想定火災に対する訓練を行っている。地域との協力体制は得られていないが、地震、水害時の避難所、避難場所の確認は認識している。又、福山市が行う災害対策に参加する予定である。備蓄に関しても現在は行っていないが、用意の検討をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	居室への入室の同意を得たり、入居者の呼称、声かけトイレ誘導など日頃の支援の中で一人ひとりを尊重しプライバシーに配慮するようスタッフで意識し対応している。	入居者の居室に入る際、声掛けを行い一緒に部屋に入るようにしている。トイレの声掛けにしても、言葉を変えて周りにも配慮した声掛けを行っている。言葉かけにも、入居者の目線に立ち、声掛けを行うよう意識して行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常会話の中で入居者の要望を少しでも多くくみ取れるように努め本人が思いを言える環境作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	スタッフに対して入居者の希望を知ったらすぐに実行できるようにどうすれば実行できるか考えるようにという意識付けの元支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	パーマをかけたい髪を染めたい等入居者の希望に沿えるようにしている。またその日に着る服も入居者と相談して選んでいる。身につけたい物がある時には家族に連絡し協力を得ている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食材の購入、調理そ下準備、可能な食事準備、後片付けなどを入居者の方と一緒にしている。また入居者の希望するメニューを取り入れたり外食に出かけるなど楽しい食事になるよう工夫し支援している。	昼食は厨房で作られるが朝夕、日曜日は各ユニット手作り料理である。入居者と料理本を見てメニューを考えたり、目で見て、舌で味わってもらえるよう季節料理を組み入れている。おやつも手作りであり、お正月にはおせち料理も作っている。畑で取れた焼き芋や回転ずし、居酒屋などの外食も楽しみとなっている。	

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	1日の食事量、水分量は記録を見て全スタッフが把握できるようにしている。食べれない時には食べれる物を少しずつでも食べてもらえるような援助をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	食後に声かけを行い介助が必要な方には介助している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	入居者一人ひとりの自尊心に配慮し排泄習慣、排泄チェック入居者の表情から個別の状態に応じた排泄支援をしており自立につなげている。またおむつからリハパンへとおむつはずしも実行している。	一人ひとりの排泄チェックで把握し、職員間で話し合いを行い、排泄パターンを確認している。個別に声掛けを行う事でおむつを使用する方はほとんどおられない。おむつ→リハビリパンツ→布パンツに変える事でトイレ誘導に繋げている。又、失禁が分かり、排泄が分かる状態に変えていけるよう実践している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便の間隔を把握し個別の状態により医師の指導の元、下剤や浣腸の使用を行っている。予防としては水分摂取量に気をつけたり腹部マッサージ運動などを取り入れている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	入居者一人ひとりの習慣や希望を把握しそれを活かしながら本人と家族の安心と満足スムーズで安全な入浴、体調の改善、入浴面での本人の力の発揮などにつなげている。	各ユニットごとに浴室があり、入浴時間にこだわらず入居者それぞれの意向に合わせて実践している。入浴剤を入れる事で楽しんで入浴される方や毎日入浴される入居者もいる。入浴拒否の方には時間をおいたり、声掛けにも工夫し、決して無理強いはしない支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	就寝時間、起床時に決まりではなく入居者のリズムで生活をされている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	処方箋を各入居者のカルテに閉じてありいつでもスタッフが確認できるようにしている。往診受診時に聞いた注意事項に関しては往診受診ノートに記入し全スタッフが薬についての確認ができる体制になっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	一人ひとりの好みに合わせて買い物、外食ショッピング等の趣味活動ができるようにしている。また日常の家事など手伝ってもらった場合などにはスタッフが感謝の気持ちを伝え張り合いの持てるようにしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	入居者の希望に応じて散歩、買い物、外食に出かけたり通院時を利用したドライブや馴染みのパン屋さんなどできるだけ実行できるよう支援している。	気候の良い時期3～11月までは月1回は外出支援を行っている。道の駅、菊人形展、紅葉狩り等、外の空気に触れる事で季節を感じて頂けるよう支援している。又、毎日の食材の買物に行く事も季節を感じてもらえる支援と考えている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	個人での金銭管理はしていない。家族から預かったお小遣いは各ユニットの金庫で管理しているが使いたいときにはいつでも出せるようになっている。		

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>特に制限はない。入居者がかけたいときにいつでもかけられるようになっている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用の空間入居者の共同作品や写真、季節の花などがあり明るい雰囲気がある。整理整頓が行き届いており入居者が作品作りや洗濯たみなどの活動する場所となっている。</p>	<p>共有空間は個人の作品や写真が貼られていて、整理整頓が行き届いている。リビングは広くてソファも置いてあり、畳スペースがある等寛げる空間となっている。入居者の動きが良く分かる空間作りがされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングの中のさまざまな場所にテーブルやソファがあり好きな場所で過ごせるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室には馴染みのものを持ち込んだり仏壇を置かれる方もおられる。入居者の作品、季節の花など思い出の物でその人らしく暮らせる部屋となっている。</p>	<p>事業所で設置される、ベット、エアコン、カーテン以外は入居者個人の自宅からの調度品である。居室にはお孫さんの写真や仏壇を持ち込まれた入居者も数名おられ、自宅の部屋で過ごしているような配慮がなされている。掃除も毎日行われ気持ちよく過ごせる環境がある。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>各入居者の個室、お風呂トイレなどわかりやすいように工夫している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	理念をユニットに貼り、スタッフ皆が見えるようにしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近所のスーパー（エブリィ等）へ食材を買いに行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	外に出る機会を設けているが、今はできていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回開催できるように努めている。管理者、主任が参加し来られた方の意見や感想を聴き、ユニット内の取組みに活かせるようにしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協働関係を築くように取組んでいる。	不明な点などあった時は、市の担当者に相談し連携をとっている。		

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	月に1回の身体拘束委員会に参加し、勉強会などを行い、拘束しないケアに徹している。		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	日常のケアの中で勉強会を行い、虐待に対する意識を高めている。月に1回、虐待防止委員会を発足して、定期的にアンケートを行い、会義を行っている。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	今は置いていない。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	本人の希望等について事業所で対応出来る事、出来ない事項について、必要な時に家族、本人と事業所が確認し合い、納得した上で利用してもらっている。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	年に2回、家族会を開催し、話し合いの場を設けている。面会時には、日頃の様子を話し理解してもらっている。		

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>主任会議、各ユニットでのミーティングの中で話し合う場がなかなか出来ていない。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>資格取得や実績が給与に反映できるような仕組みになっている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>スタッフの経験に応じた内容の外部研修への参加を行い、職員の育成に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>今は、出来ていない。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>利用者の事前情報などで現場のスタッフとも安心して要望が言い合えるような関係作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>家族の思い、心配事など話しをしたり、何でも話しが出来るようにしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人の希望、家族の希望については、ユニットで話し合いをしている。要望に応じられない時は代替サービスを紹介している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>ご利用者様主体の生活を実践していく為、日々、ご利用者と暮らし関係作りをしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族が参加でき、本人と関係を深めていくよう努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>帰宅したい時には帰宅出来るようにしているが、なかなか家族の都合が取れず、帰宅出来ない事が多くあるが、電話など使い途切れないようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>合う人、合わない人がいるので、不満が出ない程度に交わるようにしている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>ご利用者が亡くなられた方への葬儀に参列している。入院されている方は、ほぼ毎日会いに行き、様子を見たりしている。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>一人一人の要望を把握し、どうしたらいいか実践できるか考えている。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>ご利用者の人生の歩み等をご家族さんに記入してもらったり、本人との会話の中で聞いたりして情報を得ている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>ライフチャート、申し送りノート等で全スタッフが情報を共有できるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ミーティングでカンファレンスを行うようにしているが、出来ない事があるのでその時は申し送りを使用したり、スタッフに聞き取りをしたりと取り組んでいる。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>ライフチャートなどを利用し、こまめな記録を申し送り等で情報を共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>本人、家族、事業所で話し合いが持てる時には、実現できるよう取り組んで行きたいが、今はなかなか取り組めないでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の祭りや催し物等の行事には、今は参加していない。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>いつでも相談、受診ができる体制になっている。事業所の協力病院以外でも本人、家族が希望するかかりつけ医を利用している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	協力病院の看護師にいつでも相談できるような体制が整っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には病院との連携を密にし、少しでも早期に退院できるようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	家族、医師、事業所で話し合う機会を設け、事業所で出来ることと本人と家族の要望をすり合わせながら最期までの生活できるよう支援している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時のマニュアルを準備している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署の職員指導の下に避難訓練を定期的に行っている。		

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	各ミーティングなどを利用し、ご利用者の尊厳を尊重するケアの重複性を話し合うように努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常生活の中で、ご利用者の要望を少しでも多く組み取るように努め、少しでも本人が発言できるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員側の決まりや都合を優先することがあるが、対応が実践できるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	洋服を選ぶ時に、これにしますかとか言えるご利用者が少なく、つつい職員側で選ぶ事の方が多い。訪問美容室を利用して頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	献立などは職員が決めている。作るのも職員がほぼ全部作っている。片付けなどは、たまにご利用者がしてくださる時もある。		

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一日の食事量、水分量は記録を見て全スタッフが把握できるようにしている。個々の状態に応じて食べられない時には、食べられる物を少しずつ食べて頂くよう援助している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>朝起床時、寝る前に口腔ケアや入れ歯の洗浄を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄、時間を決め定期的にトイレでの排泄が出来るように援助を心掛けている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>個々の状態により、医師の指導の下、下剤など使用している。水分摂取量にも気をつけている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>職員の都合で入浴の時間を決めているところもある。対応が難しい時間は、午前と午後に分けて援助している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>就寝時間、起床時間は、決まり はないが全介助ご利用者には、 時間が決まっている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>処方箋は、カルテに綴じていつ でもスタッフが確認出来るよう にしている。往診、受診時に指 示された注意事項に関しては、 往診ノートに記入するようにな っている。全スタッフが薬につ いての確認が出来る体制になっ ている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの好みに合わせる事 は、今はなかなか難しく、外出 なども出来ない。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。</p>	<p>ご利用者が家族と一緒に受診さ れる時などは外出、外泊、食事 などに出かけられる事を楽しま にされている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>各個人での金銭管理はしていな い。各ユニットの事務所に金庫 を設け、管理している。使いた い時は、使用できるようにして いる。</p>		

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ユニットでは、電話をしたり手紙を書いたりされるご利用者がいない。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節に応じて壁面作りなどで季節感を味わえるようにしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングで様々なテーブルやソファがあり、好きな場所で過ごせるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>家族の写真又は、ご自分の写真、テレビなど持ち込んでいる。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>ご利用者の個室やお風呂、トイレ等わかりやすくしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を事務所に貼り、スタッフ皆がいつでも見えるようにしている。年間目標を掲げて目標が達成できるように意識している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近所のスーパー（ハローズ等）へ、食材を買いに行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	外に出る機会を設けて、認知症の方でも色々なことが出来るということを理解してもらいたいと思うが、今は出来ていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回、開催している。管理者、主任が参加し、来られた方の意見や感想を聞き、ユニット内での取り組みに活かせるようにしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	日頃の不明な点などは、市担当者へ相談し連携をとっている。		

自己評価	外部評価	項 目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>日常のケアの中で主任を中心にミーティング、勉強会、研修等の中で周知し、拘束をしないケアに徹している。どのようなことが身体拘束になるのかをスタッフに周知する必要がある。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>日常のケアの中で主任を中心にミーティング、勉強会、研修等の中で周知し、虐待に対する意識を高め防止に努めている。主任は、不適切なケアに繋がるような行為があった時は、注意を促している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>本人の希望、家族の希望等について、事業所では対応出来る事、出来ない事等について契約時に限らず、必要な時に家族、本人と事業所が確認し合い、納得した上で利用してもらっている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>本人の希望、家族の希望を事業所で出来る事出来ない事を契約時に限らず、必要なときに家族、本人と事業所が確認し合い納得した上で利用してもらっている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>年2回(春・冬)に家族会を開催し、その中で家族との話し合いの場を設けており、家族へのアンケートを実践している。面会時には日頃の様子を話したり、サービス担当者会議では家族からのご要望を知れるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	主任会議、各ユニットでのミーティングの中で意見や提案等を話し合う場を設けている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	資格取得や実績が給与に反映できるような仕組みになっている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	スタッフの経験に応じた内容の外部研修への参加を行っている。法人内の勉強会を開催し勉強している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	今は、できていない。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前の事前訪問などで、現場スタッフも安心して要望が言えるような関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項 目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>要望に沿ったサービスを提供できるように家族の思い、心配ごとなどを話してもらえよう関係作りをしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人の希望、家族の希望を事業所で出来る事出来ない事をすり合わせ、要望に答えられない場合には要望に沿えるようなサービスを紹介している</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>入居者さん主体の生活を実践していく為にスタッフは入居者さんの要望を叶える為に存在していることを意識し、入居者さんと暮らしを共にする関係作りをしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>事業所がすべてしてしまうのではなく、家族が参加出来る時には参加してもらい本人と家族の関係を最優先にし、家族では補いきれない部分を事業所がサポートするように努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>自宅や地域の祭りや花見などの地域行事に参加したり、帰宅したい時には帰宅出来るようにして家族の都合がつけば外泊できるようにしている。又、事業所に家族が宿泊されたり、電話などを使い関係が途切れないように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う同士で好きにしてもらっている。単独での行動が多い方には不満が出ない程度に他の方と交流が出来るようにスタッフが仲立ちしたりし、入居者さん同士が楽しみながら生活できるようにユニットに関係なく交流できるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	長期入院の為退去した方へ入居者さんと一緒にお見舞いに行ったり、亡くなった方への葬儀に参列している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの要望を把握し、どうしたら実践できるかをいつも考え実行している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日常での本人の会話、面会時の家族との会話やサービス担当者会議で情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ライフチャートや申し送り等で全スタッフが情報を共有できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ライフチャートや申し送り等で全スタッフが情報を共有できるようにしている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>ミーティングで話し合ったり、ライフチャートを利用しこまめな記録と勤務交代時の申し送り等で情報を共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その都度、本人、家族、事業所で話し合い、可能な限り実現できるように取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の祭りや催し物の行事へ参加している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>何かあればいつでも相談受診できる体制になっている。事業所の協力病院以外でも本人、家族が希望するかかりつけ医を利用している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	協力病院の看護師さんに、いつでも相談できるように体制が整っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には病院との連携を蜜にし、すこしでも早期に退院できるようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	家族、医師、事業所で話し合う機会を設け、事業所でできることを本人と家族の要望をすり合わせながら最期まで生活できるように支援している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時のマニュアルを準備している。定期的にスタッフ全員救命救急講習を受けている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署の職員指導の下に避難訓練を定期的に行っている。災害時の地域との連携はとれていない。		

自己評価	外部評価	項目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	各ミーティング、社内研修などを利用し入居者さんの尊厳を尊重するケアの重要性話し合い、実行している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常生活の中で、入居者さんの要望を少しでも多く汲み取るように努め、本人が思いを言える環境作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	スタッフは、入居者さんの希望が分かったら即実行できるか考えるように、意識付けの元で支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	入居者さんと相談して、その時に着る服やを選ぶようにしている。訪問美容室を利用して頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	献立を一緒に決めてから、食材の買出しへ行っている。調理時には、各入居者さんの出来るところを担当してもらい、入居者さん、スタッフが一緒にすることを大事にしている。		

自己評価	外部評価	項 目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一日の食事量、水分量は記録を見て全スタッフが把握出来るようにしている。個々の状態に応じて食べれない時には食べれる物を少しずつ食べて頂くよう援助している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後に声掛けを行い介助が必要な方にはスタッフが誘導して行っている。入れ歯が合わなくなったり、口腔に異常がある方には訪問歯科にお願いし、診てもらっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンを把握し、一人一人に合わせた援助を心掛けている。トイレに行きたいと言われたら、すぐに対応している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便の間隔を把握し個々の状態により医師の指導の下、下剤や浣腸の使用行っている。予防としては、水分摂取量に気をつけたり、便秘に良い食事を考えたり、腹部マッサージ等を取り入れている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一日4人ずつ、午前と午後に分けて入ってもらっている。一週間に2回は必ず、入れるようにしている。職員の都合になっている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>就寝時間、起床時間は特に決まり はないが、入居者さんのリズム で生活して頂いている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>処方箋説明書を各入居者さんの カルテに閉じていつでもスタッ プが確認できるようにしている。 往診、受診時に聞いた注意事 項に関しては、往診ノートに記 入するようになっており、全ス タッフが薬についての確認が 出来る体制になっている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換 等の支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの好みに合わせ買 い物、外出、趣味活動ができる ように心がけている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援してい る。</p>	<p>一人ひとりの希望、要望が分 かったら即実行出来るように スタッフに意識付けをしている。 家族、スタッフとの外食、お墓 参り等やりたいことを実現で きるように努めている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	<p>各個人での金銭管理はしてお らず、各ユニットの事務所に 金庫を設け管理しているが、 使いたい時に使えるように している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	好きな時に電話をしたり、年賀状を書いたりしている。		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	季節の花を飾ったり季節ごとにユニット内の飾りを変えたりと季節感が味わえるようにしている。		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	リビングの中の様々な場所にテーブルやソファがあり、好きな時に好きな場所で過ごせるようにしている。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	使い慣れた家具等を持ち込んでもらっている。家族の写真や自分で作った作品等を飾っている。		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	各入居者さんの個室、お風呂、トイレ等わかりやすいように表示している。ご自分の部屋が分からなくなる方には、ドアに大きく名前を書いて分かるようにしている。		

V アウトカム項目(こもれば) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V アウトカム項目(せせらぎ) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V アウトカム項目(かがやき) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームかざぐるま

作成日 平成30年12月23日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	2ヶ月に一度運営推進会議を行っている。以前は、入居者の家族も出席していたが現在は、参加されていない。	日ごろの生活の様子や2ヶ月間の行事や研修報告などの報告をし家族の方からの意見やアドバイスをしていただき質の向上を目指す。	運営推進会議の内容を理解していただき、多くの方の参加を募り、そこでの意見をサービスの向上に活かす。	2ヶ月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。